



# 主要な農作物の生育情報

平成30年度 第6号

(平成30年9月7日)

福島県農林水産部農業振興課

## 【作物】

### 1 水稻

農業総合センターの作柄解析試験では、出穂期が平年より2～4日早まりました(表1)。出穂後は気温が高く経過しましたが、8月中下旬は気温の低下と日照時間が少なく、浜地域研究所(相馬)における出穂後の籾黄化率の推移は平年並となっています。会津地域研究所(会津坂下)と浜地域研究所(相馬)の「ひとめぼれ」の成熟期は4日程度早まる見込みです。

収穫は、日別積算気温(始期の目安950℃)の他に、籾黄化率(80～90%以上)と籾水分(25%以下)を確認して行う必要があります。

表1 水稻主要品種の出穂期(本年値)と成熟期(平年値)

場所	品種	移植期 (月日)	出穂期			成熟期の 平年値 (月日)
			本年 (月日)	平年 (月日)	平年差 (日)	
本部 (郡山)	ひとめぼれ	5.15	7.31	8.3	-3	9.22
	天のつぶ	5.15	8.2	8.5	-3	9.24
	コシヒカリ	5.15	8.8	8.12	-4	10.2
会津地域研究所 (会津坂下)	ひとめぼれ	5.21	7.29	7.31	-2	9.11
	天のつぶ	5.21	7.30	8.2	-3	9.15
	コシヒカリ	5.21	8.2	8.6	-4	9.19
浜地域研究所 (相馬)	ひとめぼれ	5.10	7.28	8.1	-4	9.14
	天のつぶ	5.10	7.30	8.3	-4	9.23
	コシヒカリ	5.10	8.5	8.8	-3	9.28

※ 農業総合センター作柄解析試験。平年は前5カ年の平均値。

### 2 大豆

農業総合センターの作柄解析試験では、開花期は平年より3～7日早まり、現在は子実肥大期となっています。7月から8月の高温と少雨の影響により、草丈が短く、節数や分枝数が少ない状況です。また、花落ちにより莢数の少ないほ場がみられます。

## 【野菜】

### 1 きゅうり

抑制栽培の定植は、平年並の7月中下旬から8月上旬にかけて行われ、収穫は平年並の8月中旬から始まりました。高温の影響により活着不良、生育遅延がみられましたが、現在は概ね順調に生育しています。露地栽培は、収穫の後半を迎えており、草勢は低下傾向となっています。

ほ場により炭そ病、褐斑病、つる枯病がみられ、害虫はアザミウマ類、ハダニ類が発生しています。

### 2 夏秋トマト

7月の高温の影響により多くのほ場で中段を中心に落花がみられましたが、上段では正常に着果しています。裂果の発生が継続しているほ場があります。

ほ場により、灰色かび病、葉かび病がみられ、害虫はアザミウマ類、コナジラミ類、オオタバコガが発生しています。

### 3 さやいんげん

5月定植の作型は高温・乾燥の影響により草勢が低下したまま終盤を迎えたほ場が見られましたが、7月定植の作型では概ね良好に生育し、現在収穫期を迎えています。

### 4 夏秋ピーマン

7月の高温・乾燥の影響により尻腐果が多発しましたが、9月以降は少なくなっています。アザミウマ類、オオタバコガが発生しています。

## 【果樹】(9月1日現在：農業総合センター果樹研究所)

### 1 もも

「川中島白桃」の収穫盛りは8月15日で平年より12日早まりました。果実の大きさは363gと平年よりやや大きく、糖度は14.7と平年より高い状況でした。

「ゆうぞら」の収穫始めは8月16日、収穫盛りは8月20日で平年より15日早まりました。果実の大きさは366gと平年より大きく、糖度は13.8と平年より高い状況でした。

## 2 なし

「幸水」の収穫始めは8月20日で平年より5日早く、収穫盛りは8月23日で平年より8日早まりました。糖度は12.7でほぼ平年並でした。

「豊水」は、暦日比較で縦径100%、横径99%と平年並であり、満開後日数による比較では平年より小さい状況です。

## 3 りんご

「つがる」の収穫盛りは8月27日で平年より7日早く、成熟日数は127日で平年より2日長くなりました。果実品質は、果実重が317gと平年より大きく、糖度は14.4と高く、果肉硬度は12.1ポンドで平年並でした。

「ふじ」は、暦日比較で縦径100%、横径103%と平年並であり、満開後日数による比較では平年よりやや小さい状況です。

## 【花 き】

### 1 キク類

9月咲き是一部で発蕾の遅れがみられましたが、蕾の発達は進み、生育は概ね順調に推移しています。10月咲きについても、概ね平年並の生育となっています。

病気の発生は少ない状況ですが、ハダニ類やアザミウマ類等の発生が多く、特にオオタバコガの発生が増加しています。

### 2 リンドウ

9月彼岸向けの中晩生品種については、一部で開花の前進や高温による花卉の色抜け症状がみられるものの、草丈や節数は概ね平年並となっています。

病害虫では、アザミウマ類やハダニ類の発生が多くみられ、葉枯病等の発生も増えてきています。また、一部の地域で黒斑病が多発しています。

## 【飼料作物】

### 1 牧草

3番草の生育は、8月下旬の降雨により回復してきています。8月中下旬に収穫の品質は良好ですが、収量は平年より少ない状況で、ほとんどの地域では9月上旬から収穫が行われています。

### 2 飼料用とうもろこし

早生種は8月から収穫が行われ、現在、中晩生種の収穫期を迎えています。

### 3 稲WCS

8月上旬より収穫が開始され、現在、収穫盛期を迎えています。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7344

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>